

作成日

令和6年9月24日

短期留学留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏 名		所 属 (令和6年度)	観光まちづく り	学部	観光まちづくり	学科	3 年
学籍番号		留学期間	令和	6 年	8 月 ~	令和	6 年 9 月
留学先 国・地域	アイルランド	留学先(学校)	Dublin City University				

○報告内容

1. 留学前準備について(留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※300字程度以上が目安
留学に参加した理由は、就職活動が本格化する前に視野を広げ今後の人生の指標を手に入れることです。今まで日本でしか生活をしたことがなく、私の中で物の見方が限定的であり多角的な視点を身に付けたいと考えたからです。なぜオーストラリアではなくアイルランドを選んだのかということですが、それは距離的に遠く今後の人生で行く機会がおそらくないだろうと思いこの機会を逃すわけにはいかないと考えたからです。今回の留学の自分の主な目的は異文化交流であり地理的な距離が空いている方が日本との違いが多くカルチャーショックを受け易いと考えたからです。
2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動 等) ※300字程度以上が目安
留学中に心がけたことはとにかくよく食べることです。これは実際に向こうのクラスで体調を崩してしまったクラスメイトの子がいて2週間の留学期間の内行動できた日数は数える程でした。このことから、体が資本でありせっかくの機会を存分に楽しむために無理をしてでもよく食べ、よく寝ることを心がけていました。努力したことは、暇な時間を作らないように沢山の友達を作り、自分から遊びや食事に誘うことです。どうしても慣れない土地での行動や食事を続けているとふと日本が恋しくなることがあります。そのような考える時間を作らないように何かに熱中するようにしていました。
3. 留学の成果について(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※300字程度以上が目安
留学の成果は少し性格に変化があったことです。留学前より少し図太くなり小さなことを気にしすぎるのが減りました。そのような理由にはアイルランドの働いている際の姿勢を目の当たりにしもう少し適当に気楽に考え行動しても大丈夫だと知れたからです。適当に入ったファストフード店で客が沢山いて忙しいのにも関わらず店員同士が腕相撲をしていたり、レジにお客さんが並んでいてもそのそスマホをいじりながら店員さんが出てきたりしたからです。これらのことによりこちら側が直接的な被害を受けているわけでもないのでもどちらにとっても悪いことではないと考えました。日本では顧客ファーストで相手のことを尊重するあまり自身のことをないがしろにすることが美学とされることがあります。しかし、もう会わないかも知れない一時の客より働いている自分の幸福度を優先するその姿勢は学ぶことがあると感じました。
4. 留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか ※300字程度以上が目安
留学で学んだ経験を今後の人生の分水嶺である就職活動に活かしていきたいと考えています。人生がかかっている大一番なわけですが気負いすぎずに人は人自分は自分という割り切ったアイルランドのファストフード店の店員の方のように自分らしく頑張っていきたいと考えています。さらには今回の留学を経て海外に対する抵抗がなくなり国内旅行感覚で海外旅行に行けるようになったので今後の旅行の選択肢に海外というとても魅力的な物を新しく増やすことができ、糧となる経験をできたなど感じています。さらには向こうで知り合った方と日本に帰ってからもコミュニケーションを取ることができこれでまた人生の幅を広げることができたなど考えています。

留学先 国・地域	アイルランド	留学先(学校)	Dublin City University
-------------	--------	---------	------------------------

5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。**1枚以上**

 写真の説明① サッカーを現地の子ども達と楽しみました	写真の説明②
写真の説明③	写真の説明④

6. 外国語での記述欄(留学先国・地域の言語で、留学中の生活、成果等について、自由にご記入ください。)※英語150 words以上が目安

I was able to learn a lot from the various experiences I had while studying abroad in Ireland. What I felt was the most important thing was the importance of asserting yourself. In Japan, it is considered a virtue to wait until someone understands. However, I realized that if there is something you want done, communicating directly verbally is an essential part of building smooth interpersonal relationships.

7. その他(自由記述)任意で記述

--